



かけはし

一生懸命の姿や、あの言葉に感動！

北京オリンピックが行われたことで、今年の夏はテレビの前にくぎ付けという方も多かったのではないのでしょうか。また、いろいろなプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも一生懸命頑張る姿や、競技が終わったあとの感想に胸を熱くしたのではないのでしょうか。さて、みなさんは、どんなシーンや言葉が心に残っているでしょう。

○女子柔道銅メダルの谷亮子選手への夫からの一言。『ぼくには金メダルに見える。』

男子柔道の内柴選手や石井選手、女子柔道の谷本選手や上野選手の金メダル。谷本選手のオール一本勝ちには胸がスカッとした人も多かったかも…。中村選手の銅メダルや塚田選手の銀メダルもありました。

○水泳の北島選手の二つの金メダル。100mのあと、涙ながらに言った、『すみません、何も言えねえ。』これまで多くのプレッシャーと戦ってきたのでしょね。メドレーリレーでも銅メダルを獲得しました。

バタフライの松田選手や背泳ぎの中村選手も銅メダルを獲得しました。コーチの元へ花束を渡しに走った松田選手の姿と、この言葉。『これが自分色のメダルです。』自分への最高のほめ言葉なのかもしれませんね。

○男子体操団体の銀メダルと個人総合内村選手の銀メダル。どちらも最終種目で逆転しての銀メダルでした。4 位になった富田選手と共に最後まであきらめずにやり通すことの大切さを教えられました。

○フェンシングで初の銀メダルをとった太田選手が家に帰ったとき、太田選手のお父さんが奥さんに贈った言葉。『おまえが生んだ子どもだよ。』

○『馨と一緒に歩んできた道は最高の道。その道を歩んできたことが私の誇り。』と言って笑顔で銀メダルを首にかけた伊調千春選手。次の日、観客席で妹の金メダルに涙する姿にまた感動。悔しさをバネに金メダルをとった吉田選手、銅メダルを太陽のような笑顔でもらった浜口選手、結局女子レスリングでは4つのメダルを取りました。男子レスリングでも松永選手の銀メダル、湯元選手の銅メダルと、2つのメダルを獲得しました。

○永井選手は、日本で生まれた競技「ケイリン」で初のメダルを獲得しました。

○女子ソフトボール。『最後は気持ちの強い人間が勝ちをつかむことができる。』と二日間で三連投 413 球を投げきった上野選手。その上野選手の金メダルを見て言った母の言葉。『これは、あなたの金メダル。私たちの金メダルは、あなたです。』

解説の宇津木さんの号泣につられて涙した人も多かったかもしれませんね。

○シンクロデュエットで銅メダルをとった鈴木・原田両選手。中国の双子姉妹に負けない技術の高さでメダルを死守しました。チームでは惜しくもメダルを逃しましたが、演技後過呼吸で倒れるぐらいの選手の頑張りに胸が熱くなりました。

○陸上 400m リレーでは銅メダルを取りました。バトンパスの正確さに、さすが日本！と感じました。朝原選手は 36 歳。現役で頑張ってきた姿に勇気をもらいました。

これまで多くの人に支えられ励まされてきたのでしよう。メダルをとった選手が、どの選手も周りの人々への感謝の言葉を口にしていたのが印象的でした。

また、靴が脱げても走り続けた選手、最下位でゴールしても走ってきたコースにきちんと一礼してその場を立ち去る選手など、メダルには届かなかったけれど素晴らしい感動を残してくれた日本の選手やチーム、そして素晴らしい技や力を見せてくれた世界の選手やチームに温かい拍手を贈りたいと思います。

さて 2 学期。五條小学校でも、子どもたちが感動を味わえる場面を数多く作っていきたいと思います。

ご意見ご感想をお寄せください。
